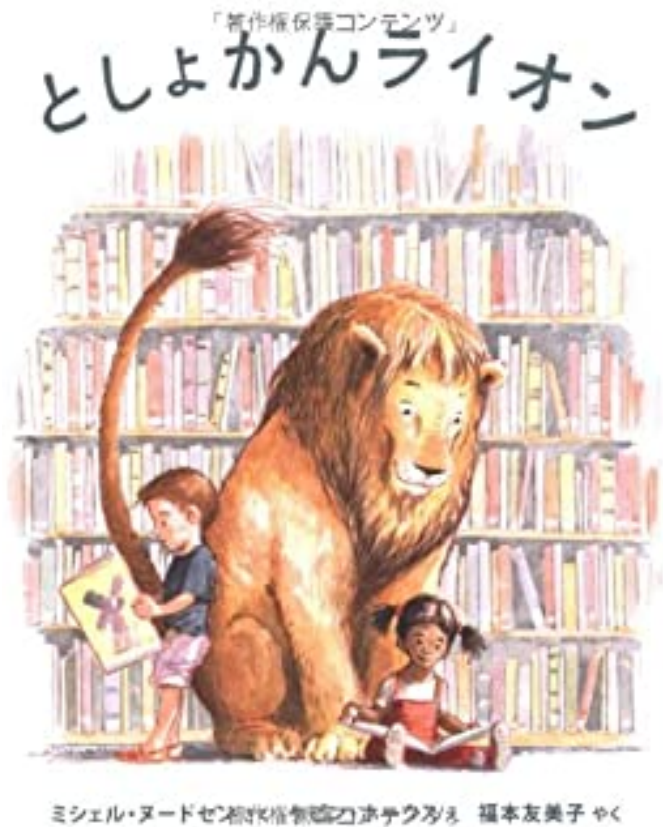


『としょかんライオン』 ～3年生 <本の世界を広げよう> 141ページ～

ミシェル・ヌードセン さく

ケビン・ホークス え

福本友美子 やく



としょかんを大好きなライオンと、としょかんで働く人たち、そして子どもたちのとても心の温まるお話です。ルールを守めることは大切だけど、でもルールを守っているだけではダメな時もある、というお話です。

冷たい印象だったマクビーさんが、ルールをやぶってしまっしよげているライオンをなぐさめる言葉が素敵です。ちょっと不器用で優しい言葉をかけるのが照れ臭いマクビーさんの、精一杯の言葉でした。でも、ガラスに映っているあんな悲しそうなライオンの顔をみたら、誰だって、いてもたってもいられなくなってしまふでしょう。

絵を見ているだけで優しい気持ちになります。「としょかんが好き！」という気持ちがあふれているライオンの表情は、いつまでも眺めて入られます。そしてライオンの柔らかそうな毛に触りたくなってきます(実物のライオンの毛は硬そうですが…)

ライオンでも、人間でも、としょかんを大好きな人を、としょかんはいつでも歓迎します！

- 読むのにかかる時間 20分
- 絵本 41ページ
- 岩崎書店